

# 令和5年度 認定こども園 自己評価表

## <評価について>

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

- A — たいへんよい
- B — よい
- C — 一部検討を要する
- D — 改善を要する

社会福祉法人慈恵会  
やすひさ幼児園

<経営・組織について>

内 容		評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 園長や主幹保育教諭一職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	○				職員配置を工夫し、協力できる体制づくりを実施している。シフト勤務のため、各クラスが連携しながら保育をすすめている。園児数に応じ職員配置を決めている
	(2) 能率的、合理的な運営組織になっている	○				
	(3) 職員の配置は適材・適所である	○				
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切である	○				
運営	(1) 教育・保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	○				職員会議・給食会議を月1行い、各クラスの様子、気になる子ども等の情報交換や共通理解を図っている。会議内容は記録し、誰でも閲覧できるようにしている。掲示は保護者の目に付きやすい玄関掲示を利用している。会計は毎月会計事務所に点検・指導してもらっている
	(2) 定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	○				
	(3) 各種会議を適切かつ効率的に進めている	○				
	(4) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている	○				
	(5) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	○				
	(6) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか	○				
年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定している	○				コロナ禍から徐々に通常保育に戻り、ほとんどの行事・活動が可能になってきた。ICTシステムを利用し、発達等を記録し、年齢別の保育・教育に役立っている。
	(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定している	○				
	(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている	○				
	(4) 評価、資料(諸記録)を集積している		○			

<守秘義務について>

内 容		評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
(1) 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		○				個人情報の保護に努めるよう職員に周知している。
(2) 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		○				

<安全・危機管理について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的を実施している	○				園内の安全点検は毎日行っている。 避難訓練は毎月行い、消火訓練、防犯（不審者対策）訓練、交通安全教室を年に1回ずつ消防署や警察署に協力頂き実施している。AED 提供会社によるAED 訓練も行っている。 事務室に医療機関の連絡先を掲示。
(2) 施設内外設備の安全点検を計画的に行っている	○				
(3) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	○				
(4) 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができるところにある	○				
(5) 外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	○				
(6) 緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	○				

<健康管理・衛生について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	○				毎月の身体測定、年2回の内科健診、年1回の歯科検診を実施。 感染予防対策を年齢に応じて行い、手洗いうがいを励行している。 玩具・遊具は使用後の消毒を行うようにしている。 SIDS については目視にプラスして ICT 機器を導入し早期発見につとめている。毎月1回保健だより発行
(2) 園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され教育・保育に反映させている	○				
(3) 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた教育・保育を心がけている	○				
(4) 玩具、遊具等は常に衛生的に保持している	○				
(5) SIDS(乳幼児突然死症候群)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○				
(6) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている	○				

<教育・保育環境について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 教育・保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切にし心地よい環境で教育・保育ができるように努めている	○				雑務職員を採用し、園内外の清潔さを保つようになっている高機能換気システムを使用し、室内の温度調整や換気に気をつけている。遊具も園児が使いやすいように、整理するように心がけている。季節の花や野菜等を定期的に園児と栽培している
(2) 室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	○				
(3) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している	○				
(4) 季節の草花等を飾り、教育・保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	○				
(5) 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	○				

<保育・教育について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	○				園児の年齢、発達に応じて指導計画を作成し、保育、教育を行っている。行事等、年齢ごとにある程度同じ活動を行う際は、個々の発達に合わせることが困難な状況もあるが、極力職員同士の協力で対応している。雨の日や、夕方等の時間も年齢にあった遊びを提供できるように玩具や遊具を用意している。各クラス、年齢に応じた友だち同士の関わりの中で社会的ルールを学ぶように配慮している
(2) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成している	○				
(3) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫している	○				
(4) 素材・用具を適切に活用している	○				
(5) 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めている	○				
(6) 園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている		○			
(7) 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	○				
(8) 園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	○				
(9) 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	○				
(10) 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	○				

<食育について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○				毎月、給食会議を実施し、子どもの食について担任、調理担当で話し合う場を設けている。園で野菜の栽培等を行い、旬の食材を学んだり、好き嫌いを減らすよう心がけている、行事食もできるだけ取り入れている
(2) 園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	○				
(3) 毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	○				
(4) 食物アレルギーのある園児は、調理と職員で密に連絡をとり除去食で対応している	○				

<行事について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 行事の種類や実施回数は適切である	○				コロナ禍収束に伴い、行事の運営が通常通りに戻ってきた。子ども達のがびのびと楽しく参加できる行事になるよう計画した
(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	○				
(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっている	○				
(4) 保護者の願いや意見を取り入れている	○				

<研究・研修について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものである	○				コロナ禍以降、研修体系がZOOM研修へ移行してきているが、参加型の研修にも参加させるようにした。また園内研修も研修DVD等を利用したり、テーマを決めて実施している。
(2) 園内研修の計画・運営は適切である	○				
(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させている	○				
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せている	○				
(5) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っている	○				
(6) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元している	○				

<子育て支援・地域交流について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	○				電子連絡帳を利用し、家庭との連携をとりやすくしている。 送迎時だけでなく、年度初めに全家庭、面談を行い、園児の家庭での様子、保護者の子育ての悩み等を把握するようにしている。 年中以降の園児に対しては、就学に向けて教育委員会や各種療育施設への相談等も行っている。 コロナ禍で中止されていた中高生の職場体験も復活し、中郷中、泉ヶ丘附属中学の生徒が体験にきた。 また南九州大学の生徒の研究テーマに協力した。
(2) 保育参観等の機会を設け、保護者に教育・保育を理解してもらう工夫をしている	○				
(3) 職員による育児に係る「子育て相談」が充実している		○			
(4) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している			○		
(5) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している			○		
(6) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている		○			
(7) 中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	○				
(8) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放している	○				
(9) 虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	○				
(10) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	○				

<情報発信について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信している	○				毎月、園だより、クラスだより、保健・給食だよりを発行。
(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知している	○				

<外部評価について>

内 容	評 価				意見・改善策
	A	B	C	D	
(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映している				○	第三者評価は今後導入を検討しなければと思っている
(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映している		○			